

平成 24 年度第 4 回安全医療推進委員会 議事録

日時：平成 25 年 1 月 17 日（木）15 時～16 時

場所：ホテル日航東京「萩」

出席者：井口哲弘理事，米和徳委員長，今城靖明，大川淳，大谷晃司、尾形直則，小澤浩司，島田洋一，根尾昌志 各委員、田口敏彦アドバイザー

報告事項

1. アンケート協力指導医に対する医療安全単位付与の件
米委員長より 394 名分の取得証明書を作成中であり，1 月下旬から 2 月上旬に協力病院単位で発送し，個人には送らないことが報告された。
2. 手術合併症調査分析の経過報告
今城委員より詳細な報告書原案（表 1-19，図 1-3）の提示説明があり，質疑応答を行った。

審議事項

1. 日本脊椎脊髄病学会でのプロジェクト報告について
井口理事より第 42 回日本脊椎脊髄病学会学術集会での手術合併症調査報告として，4 月 26 日（金）午前 10：25-10：40 になったことが報告された。報告は米委員長が行うこと，安全医療推進委員会として報告することが了承された。
2. 手術合併症論文のまとめ方について
前回の議事録を参考に議論し，和文は日本脊椎脊髄病学会誌（JSR：第 9 号，7 月最終締切）に，英文は日本整形外科学会誌（JOS）に投稿することが決定した。なお投稿に際しては二重投稿にならないよう留意し，JSR は今回調査の合併症の実態を文章を中心に述べ，JOS では過去 2 回の調査結果との比較に重点を置いて図・表を駆使して記載してはどうかと意見があった。
さらに，最多手術年齢層が 70 代であるような超高齢社会での脊椎手術報告は世界になく，ぜひ新たな視点で Spine に academic report として報告することが提案された。また実際に分析し論文にする基本作業は山口大学で行うため，論文の筆頭者を今城委員にすることで了承された。
なお当学会のホームページに論文内容を掲載する点については，会員への報告義務や広報に役立つとの意見もあったが，ホームページ内容は容易に会員外に流出しやすく，裁判や想定外の利用に流用される恐れがあり，掲載しないことで一致した。

3. データの2次利用について

前回の議事録を参考に議論し、生のデータを山口大学から外部に出さないことが再確認され、2次利用は認めないことで承認された。ただし今後当委員会が行う分析は問題ないため、要望があれば個々について委員会で議論することに決まった。

その他

1. 会員からの医療安全に関する要望について

井口理事から会員から電話で医療事故の外部審査を当委員会で行ってほしいと要望があったことが報告された。理事会での決定が必要との指摘があったが、これについては学会の立場が常に問題となり、学術団体としての趣旨に添わないことから、委員会では議論しないことになった。

2. 次回委員会を第42回学術集会中に開催することを決定した。